



日本女子大学 目白キャンパスグランドデザイン発表

日本女子大学は、創立120年を迎える2021年度までに生まれ変わります。

創立の地である目白キャンパスに4学部15学科、大学院5研究科を統合し、人間生活・人文・社会・自然科学の4つの系統の総合力を活かした教育・研究を行います。

新しくなる目白キャンパスのグランドデザインは、本学卒業生の世界的建築家・妹島和世氏が担い、以下のコンセプトで計画いたします。

「目白の森のキャンパス」

- ① 目白キャンパスを、緑に包まれた魅力ある学びの地にする
- ② 日本女子大学目白キャンパスの新たな顔をつくる
- ③ 既存の建物と新しい建物、過去と現在を融合させた、未来に向かうキャンパス
- ④ 学生があふれるキャンパス空間の創出
キャンパスいっぱいに広がるラーニングコモンズ
- ⑤ 地域とともにあるキャンパス



不忍通りから見るキャンパス

1901年の創立以来、日本女子大学は女子高等教育を展開し、各界で活躍する多くの女性リーダーを輩出してきました。今では、目白キャンパス（東京都文京区）に建学以来の伝統のある家政学部・文学部及び私立女子大学では唯一となる理学部、西生田キャンパス（川崎市多摩区）に全国に先駆けて開設された人間社会学部の4学部15学科を擁しています。その4つの系統を1つのキャンパスに統合することで、専門教育はもとより、幅広い教養と豊かな人間性を備えた学生を育成していきます。

日本女子大学では、創立以来「自学自動」の精神をもとに、主体的・能動的に学修し問題を解決する力の育成に取り組んできました。新しい目白キャンパスでは、妹島和世氏のデザインによって、能動的学修を支援する「ラーニングcommons」を緑に包まれたキャンパス全体に広げ、教室の中だけでない学修環境を構築していきます。

（計画・事業期間：2014年11月～2021年3月）



キャンパスいっばいにひろがるラーニングcommons



目白通り側のエントランス広場のようす

* 今後の計画につきましては、大学ホームページなどで折に触れてご案内してまいります。



妹島和世氏（右）と本学理事長・学長の佐藤和人

妹島和世氏

（株）妹島和世建築設計事務所 代表取締役

1979(昭和54)年 本学 家政学部住居学科 卒業。

1981(昭和56)年 本学 大学院家政学研究科住居学専攻 修了。

伊東豊雄建築設計事務所を経て独立。1987(昭和62)年 妹島和世建築設計事務所設立。1995(平成7)年 SANAA を設立。

金沢21世紀美術館ほか、国内外で多数の設計を手掛ける。2010年、建築界のノーベル賞といえる「プリツカー賞」を日本人女性として初めて受賞。

<この件に関するお問い合わせ先>

日本女子大学総務部広報渉外課

TEL:03-5981-3163 FAX:03-5981-3164

Eメール：n-pr@atlas.jwu.ac.jp